



肺炎球菌感染症とはどんな病気ですか？



肺炎球菌感染症とは、肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。この菌は、高齢者では鼻や喉の奥に常にあります。これらの菌が免疫力の低下などをきっかけに、気管支炎、肺炎、敗血症などの重い合併症を起こすことがあります。



肺炎球菌感染症をワクチンで予防することは可能ですか？



肺炎球菌は93種類の血清型が確認されています。その中でも、特に肺炎などの感染症を引き起こしやすい型に対応したワクチンとして、平成26年10月からの定期接種で使用される「ニューモバックスNP（23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン）」は、そのうちの23種類の血清型に効果があります。



高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンの定期接種はいつ受けられますか？



平成26年10月1日から開始されています。



高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンの定期接種は何歳で受けられますか？



平成27年度から平成30年度までは、該当する年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる方定期接種の対象となります。平成29年4月1日から平成30年3月31日までの対象年齢は以下の表の方です。

定期接種の対象となる高齢者	
対象者	生年月日
65歳となる方	昭和27年4月2日生 ~ 昭和28年4月1日生
70歳となる方	昭和22年4月2日生 ~ 昭和23年4月1日生
75歳となる方	昭和17年4月2日生 ~ 昭和18年4月1日生
80歳となる方	昭和12年4月2日生 ~ 昭和13年4月1日生
85歳となる方	昭和 7年4月2日生 ~ 昭和 8年4月1日生
90歳となる方	昭和 2年4月2日生 ~ 昭和 3年4月1日生
95歳となる方	大正11年4月2日生 ~ 大正12年4月1日生
100歳となる方	大正 6年4月2日生 ~ 大正 7年4月1日生



私は、既に「ニューモバックス NP」を接種したことがありますが、定期接種を受けられますか？



既に「ニューモバックスNP」を接種したことがある方は、定期接種の対象とはなりません。



過去に肺炎になったり、肺炎球菌感染症にかかったりしたことがあるのですが、定期接種の対象者になりますか？



肺炎の原因は様々な原因でおこります。また肺炎球菌には多くの血清型があります。過去に肺炎や肺炎球菌感染症にかかっても、定期接種の対象になります。



病気にかかって長く療養していたために、接種を受けられずに対象年齢が終わってしまった場合、どうすればいいですか？



長期に渡り療養を必要とする病気にかかっていたために、接種対象年齢において、定期接種を受けることができなかった方でも、長期療養特例として定期接種を受けることができます



「ニューモバックス NP」を接種することにより、どのような副作用の発生報告がありますか？ もし起きてしまった時はどうすればいいですか？



稀に報告される重い副反応としては、アナフィラキシー様反応、血小板減少、ギランバレー症候群、蜂巣炎様反応等が報告されています。

その他、以下のような副作用の報告があります。

定期接種を受けたことにより、健康被害が発生した場合には、救済給付を行うための制度があります。詳細についてはお住まいの市町村にご相談ください。

報告頻度	5%以上	1~5%	1%未満	頻度不明(注)
全身症状		倦怠感、違和感、悪寒、発熱	ほてり	無力症
筋・骨格系		筋肉痛		関節痛、関節炎CK(CPK)上昇
注射部位	疼痛、熱感、腫脹、発赤	硬結	掻痒感	可動性の低下
精神神経系		頭痛		感覚異常、熱性痙攣
呼吸器			咽頭炎、鼻炎	
消化器			悪心	嘔吐
血液				リンパ節症・リンパ節炎、白血球数増加
皮膚			皮疹	蕁麻疹、多形紅斑
その他		ALT(GPT)上昇	腋窩痛	血清病、CRP上昇

(注) 自発報告あるいは海外において認められている副作用報告